

令和7年 労働者死傷病報告受理件数表

令和8年1月末現在
群馬労働局

業種別	署別	高崎	前橋	桐生	太田	沼田	藤岡	中之条	群馬局計	前年同期	増減
製造業		1	2						3	1	2
		111	278	40	231	23	39	5	727	762	-35
食料品製造業		42	118	7	46	7	8		228	242	-14
建設業		50	71	12	37	9	10	9	198	203	-5
		3	13	1	3		1	2	23	35	-12
木造家屋等建築工事業		3	13	1	3		1	2	23	35	-12
運輸交通業		40	1		1				2	6	-4
		153	15	85	9	10	3		315	352	-37
道路貨物運送業		35	1		80	8	10	3	300	337	-37
林業		1				1			1		1
		2	4			2	1		10	14	-4
小売業		72	139	27	46	22	9	3	318	271	47
社会福祉施設		53	77	24	33	8	7		202	224	-22
接客娯楽業		24	45	4	25	25	5	29	157	182	-25
		18	22	3	16	3	2	2	66	97	-31
飲食店		18	22	3	16	3	2	2	66	97	-31
上記以外の事業		4	2	1		1			8	1	7
		131	240	30	89	27	23	21	561	566	-5
清掃・と畜業		1	1						2	1	1
		25	54	10	13	5	2	4	113	105	8
計		5	5	1	1	3	1		16	16	
		482	1005	156	546	125	104	70	2,488	2,574	-86
前年同期		3	2	1	4	2	3	1	16		
		515	1004	160	590	122	94	89	2,574		
増減		2	3		-3	1	-2	-1			
		-33	1	-4	-44	3	10	-19	-86		

災害の種類別

災害の種類別・署別	高崎	前橋	桐生	太田	沼田	藤岡	中之条	群馬局計	前年同期	増減	
事故の型別	墜落・転落	1	1	1		1		5	7	-2	
		54	151	25	67	21	15	16	349	392	-43
	転倒	164	274	46	140	37	30	24	715	645	70
	はさまれ・巻き込まれ	55	1	17	79	14	12	3	289	295	-6
	切れ・こすれ	23	64	7	34	10	4	1	143	162	-19
動作の反動・無理な動作	58	169	28	95	15	15	11	391	439	-48	
起因物別	建設機械等	4	1		4	1		2	1	1	
		15	15		4	1	1	2	27	17	10
	食品加工用機械	2	23		4		1	1	31	37	-6
トラック	1	1			1			3	5	-2	
	28	68	11	41	4	3	3	158	211	-53	
外国人の災害	25	105	10	95	11	5	3	254	234	20	
建設公共工事の災害	7	10	5	9	4	3	3	41	1	-1	
									31	10	

- 注1 この表は、死亡及び休業4日以上労働者死傷病報告を集計しています。
 2 各項目の下欄は死傷者数合計、上欄は死亡者数で下欄の数の内数です。
 3 下の表は災害の種類別で、特に項目を設定して集計しています。
 4 新型コロナウイルス感染症のり患による労働災害を除いたもの。

別表 新型コロナウイルス感染症へのり患による労働災害発生状況（業種別内訳）

令和8年1月末
群馬労働局

業 種	令和7年	令和6年	対前年
	死傷者数（人）		増減（人）
製造業	2	1	1
鉱業			0
建設業			0
交通運輸事業			0
陸上貨物運送事業		1	-1
港湾運送業			0
林業			0
農業・畜産・水産業			0
商業	3	3	0
うち小売業	3	2	1
金融・広告業			0
通信業			0
保健衛生業	97	339	-242
うち医療保健業	28	176	-148
うち社会福祉施設	69	163	-94
接客娯楽業		2	-2
うち飲食店		2	-2
清掃・と畜業			0
警備業			0
その他	0	1	-1
全業種計	102	347	-245

※ 労働者死傷病報告により作成

令和7年 死亡災害事例

令和8年1月末日現在
群馬労働局

番号	発生月 発生時間帯 事業場規模	年齢 職種	災害のあらまし	業種	事故の型別	起因物別
1	1月 11時頃 30～49人	60歳代 警備員	市道沿いの工事現場で交通誘導を行っていたところ、走行してきた軽乗用車にはねられた。	警備業	交通事故	乗用車・バス・バイク
2	2月 13時頃 1～9人	40歳代 作業員	かかり木となっていた胸高直径35cm、樹高18mの檜の木を処理するため、かかられている桜の木をチェーンソーで伐倒したところ、檜の木が予定とは異なった方向に倒れ、下敷きになった。	木材伐出業	激突され	立木等
3	4月 8時頃 100～299人	70歳代 作業員	スキー場でコースを点検中(最大傾斜32°)の被災者が、コース内をうつ伏せに倒れて滑り落ちている様子をリフト係員が発見し、平地で止まった被災者に同係員が声をかけるも意識はなく、医療機関に搬送されたが死亡した。	その他の接客娯楽業	2メートル以上からの墜落・転落	その他の環境等
4	5月 16時頃 30～49人	40歳代 作業員	工場内の中天井に上がり移動していたところ、明かり取りのウレタンボードを踏み抜き、6.7m下のコンクリート床に激突した。	その他の金属製品製造業	2メートル以上からの墜落・転落	その他の仮設物、建築物、構築物等
5	7月 21時頃 1～9人	60歳代 運転手	随伴車両で乗客を追走中、道路わきの電柱に激突した。	その他の道路旅客運送業	交通事故	乗用車、バス、バイク
6	7月 8時頃 10～49人	40歳代 作業員	化学工場の設備の点検のため、設備の屋上(高さ26.0m)にて作業中に墜落した。	その他の卸小売業	2メートル以上からの墜落・転落	作業床、歩み板
7	7月 16時頃 10～49人	40歳代 作業員	事業場の屋外にて清掃作業を行っていたところ、熱中症を発症して意識を失い病院へ救急搬送された。その後、搬送先の病院で療養していたが数か月後に様態が急変し、死亡した。	産業廃棄物処理業	高温・低温の物との接触	高温・低温環境
8	8月 4時頃 300～499人	20歳代 作業員	化学物質の製造ラインにおいて、当該物質を加圧する加圧槽の配管が何らかの原因により爆発し、巻き込まれた労働者Aが熱傷性ショックにより死亡した。	無機・有機化学工業製品製造業	爆発	圧力容器
9	9月 20時頃 50～99人	50歳代 警備員	高速自動車道の道路補修現場において、工事車両の誘導を行っていた被災者が、後進してきたダンプトラックに激突され死亡した	警備業	交通事故	トラック
10	9月 17時頃 10～49人	40歳代 作業員	事業場敷地内の砕砂ストックヤードにおいて、下部に設置されたホッパーに砂を落とす作業を行っていたところ、被災者が堆積された砂上から滑り落ち、砂に埋もれ死亡した。	セメント・同製品製造業	崩壊・倒壊	石、砂、砂利

番号	発生月 発生時間帯 事業場規模	年齢種 年職	災害のあらまし	業種	事故の型別	起因物別
11	9月 15時頃 1～9人	70歳代 作業員	碎石場にて除草作業中、被災者の姿が見えないため探したところ、約21メートル下の崖下に倒れている被災者を発見したものの。	その他の 廃棄物処理業	2メートル 以上からの 墜落・転落	地山、岩石
12	9月 10時頃 10～49人	50歳代 作業員	事業場敷地内の鶏糞処理作業場において、トラックを運転中に壁に激突させたため、確認のためにトラックから降りたところ、後進してきたホイールローダに激突された。	畜産業	激突され	整地・運搬・ 積込み用機械
13	10月 15時頃 10～49人	60歳代 作業員	ゴルフ場内のカート通路において、立木の枝切作業を行うため三脚脚立（高さ3.47m）を使用して作業していたところ、何らかの原因によりバランスを崩し、地面に転落した。	ゴルフ場	2メートル 以上からの 墜落・転落	脚立
14	11月 10時頃 10～49人	60歳代 作業員	牛舎小屋内（複数の牛のいる）で、給餌や清掃中の被災者が倒れているのを別の労働者が発見した。	畜産業	激突され	その他の起因 物
15	11月 15時頃 1～9人	40歳代 作業員	事業場内において、修理作業を行っていた4tトラックのタイヤに巻き込まれている被災者を別の労働者が発見した。	特定貨物自動車 運送業	はさまれ、 巻き込まれ	トラック
16	12月 15時頃 1～9人	70歳代 作業員	材料を購入後、事業場へ戻るためトラックを運転していたところ、停止していた前方の大型トラックに追突した。	その他の卸売業	交通事故	トラック

注) 記述内容は上記期日時点の情報を取りまとめたものであり、今後、変更になる可能性があります。